

第6回渡利カップ東日本U15バスケットボール大会

ガイドライン

以下の事項に該当する場合は入場しない

- (1) 発熱(37.5℃以上)があるまたは体調が良くない場合(例:咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- (2) 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる。
- (3) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (4) 発熱、体調不良があった日から大会参加日までの間が3日未満の場合。
- (5) 休校中の学校の選手、学年閉鎖の場合その学年に在籍する選手、学級閉鎖の場合その学級に在籍する選手は入場不可となる。

体育館に入場する際の注意事項

- (1) 必ずマスクを着用する。
- (2) 各会場とも1階から入場し検温をする。
- (3) 各チームの「感染対策責任者」がチーム関係者の健康チェックシート2週間分を記入したものを集めて表紙をつけて受付に提出する。
- (4) 選手は必ず大会参加同意書を提出する。
- (5) 入場の前に手指消毒をする。
- (6) 主催者が示す注意事項を遵守する。
- (7) 観客について保護者含むチーム関係者は1チーム20名程度とする。
- (8) 第1試合のチームは試合開始の60分前から入場できる。第2試合のチームは試合開始の90分前から入場できる。第1試合のTOがある選手はTO開始30分前からの入場とする。役員や審判員などはその限りではない。入場の際はチェックシートの提出と検温をしてからの入場となる。

体育館内での注意事項

- (1) マスクの着用やソーシャル・ディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
- (2) こまめに手洗い、手指消毒をする。

- (3) 更衣室は、密にならないよう配慮し着替えを終えたら速やかに退室する。
- (4) トイレの後は手洗いをしっかりする。
- (5) 飲食時のマスク不着用時については会話を控え黙食をすること。また飲食はチームの待機場所と試合中のベンチエリアのみとする。
- (6) 翌日に試合がある場合は解散前にチームの「感染対策責任者」がチーム関係者全員の健康チェックシートを受け取りチーム関係者全員に配布のこと。

試合での注意事項

- (1) アップは屋外を原則とし、屋内でのアップはストレッチやランニングのみとする。
- (2) 前試合のハーフタイムでの練習はしない。
- (3) 試合終了後、そのコート上の選手が退場した後に次のチームの選手が入場する。
- (4) コート上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離について配慮する。
- (5) 試合前後または試合中に握手、ハイタッチ、抱擁等の接触は避ける。
- (6) ボトル、タオル等は他の選手と共用しない。
- (7) 交代する際はT O席の消毒液で手指消毒をしてからコートまたはベンチに戻ること。
- (8) 指導者、スタッフ、ベンチに座る選手はマスクを着用しできるだけ間隔を空けて座る。
- (9) 試合終了後は、T O, 補助員等の業務がなければ速やかに退場する。
- (10) チームのゴミは各チームで、個人のゴミは各自で必ず持ち帰り適切に処分する。
- (11) チームベンチの消毒は使用したチームが消毒液、除菌シート等を準備し行う。ゴミ等はチーム責任で持ち帰り処分する。
- (12) 試合前 試合後の審判 相手ベンチへの挨拶はキャプテンのみとし 握手は行わない。
- (13) T O担当選手は試合終了後にスコアラーと審判員がランニングスコアのみ確認を行い、速やかにコートを離れられるようにする。スコアシートは審判員が本部へ持っていくこととする。

不測の事態の対応について

- (1) 大会期間中に参加者から感染者が出た場合は、感染者がいるチームはその後の試合を棄権することとする。また保健所と濃厚接触者の判定を行い、場合によっては大会を中止することもある。
- (2) 大会終了後10日の間に参加チーム関係者の感染者があった場合は速やかに大会主催者に連絡をすること。その場合各チームの「感染対策責任者」に連絡をして、場合によ

っては保健所と連絡を取るなど協力をいただく場合がある。